



ぐんぐん すくすく! 相生っ子!

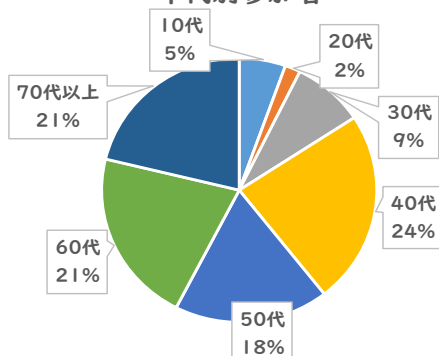
住所 相生市緑ヶ丘4丁目5-5

電話 0791-23-5070 FAX 0791-22-7211

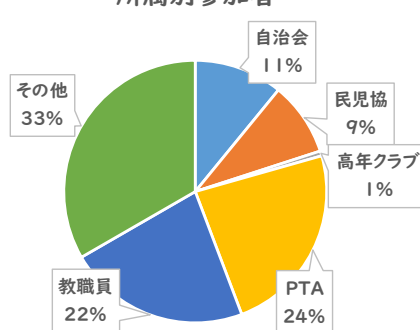
E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

◆第44回相生市青少年健全育成市民大会(2025.1.26)のアンケート結果を掲載します。

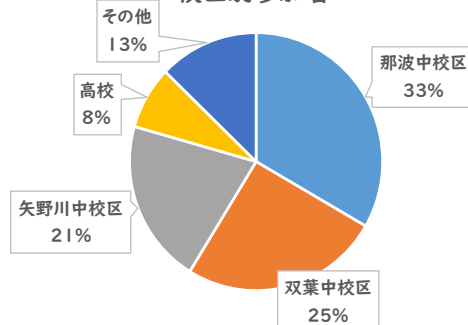
年代別参加者



所属別参加者



校区別参加者



感想

青少年を未来に向けて健全に育成していく大人全体の取り組みを、関係者で共有し、確認していく本大会実施は不可欠と感じます。
大人が社会(地域にも)、世の中にかかわることが大切だと思います。
受付から高校生の方たちが対応してくれたり、各学校の子供たちの現状、メッセージや報告が聞けてとても良かったです。もっとも声を聞きたいと思いました。当日これない方もっとたくさんの方に見てもらえるように、ネット配信等もあれば良いと思います。子供の保護者として、子供たちに対して自分のできることは責任を持ってしていかないといいなと思いました。本日はありがとうございました。来年も参加させていただきます。
長谷川先生の講演がとても心に残りました。プラスの問いかけ、早速心がけていきたいです。子どもたちの取り組みやメッセージもとても素晴らしかったです。ありがとうございました!
子ども達の健全な成長のために、子どもたち自身をはじめとし、警察・教師・保護者・地域の方など多くの人々が協力していると改めて感じました。これからも子ども達の将来のため、自分に何ができるか、自分の役割をしっかりと考えていきたいと思っています。
子どもへの考え方が変わりました。接し方を変えていこうと思いました。
参加人数が少なく感じた。子どもたちのメッセージビデオがよかった。
もっとたくさんの人が来てほしいのに、と思うくらいいい内容でした。いろいろ考えるいい機会でした。
いじめ防止にむけた中学校、小学校での取り組みを知ることが出来ました。講演では子どもにとって、自分が大切にされているという思いが自信につながり、自己肯定感が育つということが分かりました。心に余裕をもって、子どもたちに接していけるようにしたいと思います。
人が愛すること、人を大切にすることがどういうことかわかったような気がしました。ありがとうございました。
いじめをなくすための子どもたちの取り組みもよく分かった。講演会を通して会話の大切さやコミュニケーションの大切なことも再確認することができた。また、いじめをする側のストレスを考えたことがなかったが、そのストレスを取り除くことの大変さも改めて感じた。
長谷川先生の講演がとてもよかった。分かりやすいし、優しい口調が良かった。自分の子育て中の時を思い出して反省しています。「親子とはどういうことか?」ということが心の底からわかりました。ここにきて良かったです!!
保護者はみんな見るべきだと思いました。
子育てについて改めて考えさせられる内容でした。ありがとうございました。

感想

長谷川満氏の講演が良かった。もっと聞きたいと思いました。勉強になりました。年々コンパクトになっており素晴らしいです。ありがとうございました。参加者の年齢層と講演会のテーマとかが少しあってなかったかもと感じました。
長谷川先生のお話がとても良かった。市民大会にもっと親も参加してほしい。とても子供さんの育て方とかよくわかりました。子供はに日本の宝物とある人がいった話です。
講師が用意した100枚の詩のうちの1枚。「人生は"ありがとう"をたくさん言った人の勝ち。とありました。前日"ありがとう"っていい言葉だねって、話したのです。"ありがとう"と言っているつもりですが、心から"ありがとう"と言いたかったです。今回の出席して良かったです。
子どもたちのメッセージで、子どもたちの様子がよくわかりました。長谷川先生のお話明日からの教育活動で子どもたちへの声かけを改めて意識しなければならなかったと思いました。大会準備等、本当にありがとうございました。
各学校のいじめ防止の取り組みが分かって良かった。それぞれの学校の特徴を生かした取り組みを今後も続けてほしいと思います。
参加している人で、聞いてほしい、知ってほしい人たちの参加が少ないと感じる。
参加者の少ないことに驚いた。二部になり、少し人は増えて安心。子どもによって親は成長させてもらっている。この宝物を皆で守りたい。
地域の見守りの重要性を改めて感じています。
長谷川様のご講演、大変感動しました。愛のうた、両親や祖父母のことを思いながら詩を見て、涙、涙でした。感謝を忘れず生きたいと強く思いました。
なかなか自主的に参加することがないのですが、参加して本当に考えさせられる内容だったので、ためになったと思います。また、活動内容についても知ることができて良かったです。ありがとうございました。
子どもたちの取り組み内容が素晴らしいと思いました。学校ごとに様々な取り組みをされていることが知れて勉強になりました。司会が上手で良かったです。
講演で自分がマイナスの問いかけばかりしていたと思う。今さら遅いと思うが、プラスの問いかけを心がけたいと思った。
プラスの言葉かけの大切さ、つくづく感じます(自分の子育てを振り返って反省します)。これは子どもだけでなく、大人の社会でも言えることだと思います。日々心掛けていきたいです。
子どもが健やかな育ちには地域(家庭を含めて)の大人たちの見守りが必要だとあらためて思いました。
参加者がもう少し多くてもいいのと思いました。
中学生や小学生の取り組みに感心しました。高校生が司会や受付に携わるのは良いですね。

【お詫び】 紙面の関係でお答え頂いたすべてのご意見を載せることができませんでした。

子どもこそは

学校に着くと玄関の正面に掲げていた言葉をまず黙読する。

「子どもこそは

大人の父ぞ」

英国の詩人ワーズ・ワースの言葉だ。

これを読みながら

子どもから

大人が生まれる

子どもから

次の日本が生まれる

子どもから
新しい世紀が生まれる

その子どもを育てるために
この学校があり私があると、自分に言い聞かせる。

この子のおかげで

「この子さえ

いてくれなければ……」

と考えたこともある

子どもを

「この子がいてくれる

おかげで……」

と位置づけたときから

教育は始まる。

励まし合うSNS

「我々は大災害を越えていける」

魂の編集長 水谷 もりひと

「壊滅の街 眼前の悪夢」——未曾有の大災害を伝える新聞の見出し。不安、絶望、恐怖、寒さ、無力感、悲嘆に明け暮れる被災現場。

そんな時、ネット上に流れた一枚の写真に胸が熱くなった。自衛隊員が抱える赤ちゃんの写真である。震災から3日後、生後4か月の赤ちゃんは瓦礫の中で泣き声を上げ、自分の居場所を知らせてくれたそう。さらにネット上には誰かが被災地や避難所で見かけた光景をSNSで配信、それをまた誰かに送る。そんな情報が飛び交った。どんなマスコミ報道より元気をくれた情報だった。

「デイズニールランドでは、シヨップのお菓子などが配給された。その時、ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらって、一瞬、『何だ!』と思った。けど、その女の子たちが避難所で子どもたちにお菓子を配っていたところは動けない状況だったから」

「一回の青信号で一台しか前に進めないなんてザラだったけど、誰もが譲り合い、穏やかに運転している。……10時間の間、お礼以外のクラクションの音を耳にしなかった。恐怖と同時に心温まる時間で、日本がますます好きになった。」

「夜中。大学から徒歩で帰宅する道すがら、とつくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパンを配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできることを見つけて実践している人を感じ、心が温まった。東京も捨てたもんじゃないな」

「韓国の友達からのメールです。『世界唯一の核被爆国。大戦にも負けた。毎年台風が来る。地震だってくる。津波も来る。小さい島国だけれど、そのたび、立ち上がった。きたのが日本じゃないの!頑張り!超頑張り!』ちなみに僕はいま泣いている」

「4時間の道のりを歩いて帰る時に、『トイレのご利用どうぞ!』と書いたスケッチブックを持って自宅のお手洗いを開放していた女性がいいた。日本って、やっぱり世界一温かい国だね。あれ見た時は感動して泣けてきた」

「避難所で、4人家族なのに『分け合って食べます』と3つしかおにぎりを貰わない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資

を受け取る姿に、日本人の誇りを見た」

「ぜんぜん眠っていないであらう旦那に、『大丈夫?無理しない?』とメールしたら、『自衛隊なめんなよ!今無理しないでいつ無理するんだ?』と返事が」

「父が明日、福島原発の応援に派遣されます。半年後定年を迎える父が自ら志願したと聞き、涙が出そうになりました。『今の対応次第で原発の未来が変わる。使命感をもっている父ですが、私は今日ほど誇りに思ったことはありません」

「避難所で、おじいさんが『これからどうなるんだろ?』と漏らした時、隣にいた高校生の男の子が、『大丈夫!大人になったら僕らが絶対に元に戻しますから!』って背中をさすりながら言っていた。大丈夫!未来はある!」

みんな気持ちは同じなのだ。我々はきっと大災害を越えて行けるのだらう。そしてこの国はもっといい国になる。

(日本講話新聞「未来へ過去を転載して」より)

誰もがこんなSNSの使い方ができたらいいんだけどなあ……

誹謗中傷じゃなくて、本当に元気を与えられる、励ますメッセージが……